

今日の行き先

日付：2024年11月4日（月）

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	三井住友FG、富裕層基金の運営代行新事業、運用益を寄付について	日経 23 投資・積み立て	<ul style="list-style-type: none"> 三井住友FGは2025年春にも、富裕層がつくる基金の運営を代行する事業に参入する。 ウェルスマネジメント(富裕層向け資産運用)事業拡大の足がかりにするとともに、海外に比べ規模が小さい日本の寄付文化の確立を後押しする。 富裕層から寄付として預かる資金や有価証券を基金ごとに分けて運用し、運用益を希望に応じて団体や個人に支給する仕組みを想定する。寄付先の紹介や情報提供も実施する。基金設立の対象となる寄付額は10億円以上を目安とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 投資や積み立ての話題、富裕層等への話題としても活用 積み立てのポートフォリオの確認から、リバランスへのアドバイス。お客さまの志向に応じた商品を訴求
2	5歳児健診に公的助成成長つながる支援急務について	日経 1 特定の病気・ライフ	<ul style="list-style-type: none"> 自治体が行う「5歳児健診」について、国の助成制度が始まった。小学校入学を前に発達障害を早期に発見し、医療や福祉などによる支援につなぐことが大きな狙い。 試行では保護者や保育士らに、子どもの情緒や行動について聞く「SDQ」と呼ばれるアンケートを事前配布。「他人の気持ちをよく気遣う」「すぐに気が散りやすく、注意を集中できない」など25項目あり、医師は回答を参考に問診などを行い、発達障害の傾向がないかを見極める。支援が必要だと考えられる場合は、区の相談機関などを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さまをお持ちのお客さまに対する話題 ピンポイントで、対象の年齢をピックアップ 話題をきっかけに、世帯の保障・補償の最新化・最適化
3	風疹クーポン、利用率3割 45～62歳男性対象厚労省について	日経 3 特定の病気・医療保障	<ul style="list-style-type: none"> 風疹の流行を防ぐため過去に予防接種を受ける機会がなかった45～62歳の男性に対して自治体が配布してきた、接種前に抗体の有無を無料で検査できるクーポンの利用率が、5月時点で約3割にとどまり、目標の半分程度だったことが3日、取材で分かった。 風疹は飛沫感染し、発疹や発熱の症状が出る。大人が感染すると無症状の場合も多い。だが、妊婦が感染すると赤ちゃんが難聴や心臓病などの先天性風疹症候群(CRS)になる恐れがある。 クーポンは原則来年2月に期限を迎えるため、厚労省は対象者に利用を呼びかけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定の病気(とくに風疹)に対する話題として活用 対象の年齢をピックアップ(45～62歳) 話題をきっかけに、その対策や世帯の情報・世帯の保障・補償の最新化最適化
4	DeNA下克上、日本一26年ぶり3度目について	日経 23 創客・ライフ	<ul style="list-style-type: none"> SMBC日本シリーズ2024は3日、横浜スタジアムで第6戦を行い、DeNAがソフトバンクに11―2と大勝し、2連敗からの4連勝で1998年以来、26年ぶり3度目の日本一を達成した。 リーグ3位からの日本一は2010年のロッテ以来2度目で、レギュラーシーズンの勝率5割7厘は日本一に輝いたチームの中で最も低い。 シリーズ最高殊勲選手(MVP)には桑原が選ばれた。 	<ul style="list-style-type: none"> お客さま情報の再収集(世帯情報や趣味・趣向等) 創客やアプローチ、提案、再提案の機会の創出

市況情報※

日経平均/前日比	38,053.67/	定期預金金利(1,000万以上/10年)	0.400%
TOPIX	2,644.26/	国債(5年)/前日差	0.585%/
ダウ平均	42,052.19/	国債(10年)	0.940%/
上海総合指数	3,272.01/	米国債(10年)	4.385%/
ドル円	152.54-56	中国国債(10年)	2.120%/

今日は何の日

- かき揚げの日⇒
- ユネスコ憲章記念日

香川県三豊市が本社の株式会社「味のちめや」が制定。サクサクとした食感と野菜などの具材の美味しさで人気のかき揚げを多くの人に食べてもらうのが目的。日付はかき揚げはうどんやそばなどの麺類に乗せて食べられることが多いことから、カレンダーで「めんの日」の11月11日の上の同じ曜日となる11月4日としたもの

誕生日うらない

本日生まれの方の特徴：愛情深く家庭的、ただ少々嫉妬深い人

長所

- 愛情深い
- 家族が大好き
- 貧乏を恐れない

短所

- 嫉妬深い
- 自立心が薄い
- 流されやすい

誕生花：サフラン

花言葉：喜び・陽気・歓喜・節度の美

誕生日カラー
緑色



詳細はこちら

本日の深掘りウォッチ：11月は生命保険の月！そして11月1日は生命保険の日！？

11月は生命保険の月となっています。そんな11月の、「生命保険の月」の1日目を生命保険の日と一般社団法人生命保険協会が制定しました！今回は、そんな生命保険の月を紹介させていただきます！

※ちなみに、1月31日も「生命保険の日」となっており、それもあわせて紹介させていただきます

1. 11月生命保険の月の由来

日本では、昭和22年に、**生命保険協会が11月を「生命保険の月」に制定して、生命保険の普及・啓蒙活動により一層取り組む月**としています。

この由来については、当時、第2次世界大戦によって壊滅的な打撃を受けていた生命保険業界に対して、GHQ（連合国総司令部）保険担当官J.P.ロイストンから、「11月を『生命保険の月』として、生命保険の奨励運動を展開してはどうか」との提案があり、生命保険協会も、生命保険再建記念としてふさわしい行事であるとこれを受け入れた、ことによるとされています。

当時は、生命保険に入る場合には、毎年1回保険料を支払う「年払タイプ」が中心であり、さらに、保険商品も貯蓄型の「①」が中心で、保険料も相当の金額になるものだったとあります。

一方で、当時は**農家の方が多く、秋にお米の収穫があり、それを農協に販売してお金が入る時期との関係**から、11月が最適な時期だったともいわれています。

ちなみに、日本に「生命保険の月」の制定を提案した米国にも、同様の概念がある。米国では9月が「生命保険啓蒙の月」（Life Insurance Awareness Month）と設定されている。ただし、こちらは2016年が第13回目ということで、日本に比べると歴史が浅いようです

2. 1月31日の生命保険の日

1月31日の理由は、「**日本で生命保険の保険金が最初に支払われたことが新聞に報じられた日**（1882年（明治15年）1月31日）」に基づいています。

制定したのは、MDRT日本会で、2009年1月に「1月31日」を「生命保険の日」と制定しています。

MDRT日本会は、「新聞に報じられたことから、世間の注目を引いた日で、**お客さまのために初心を忘れないよう**にと、この1月31日を『生命保険の日』としました。」と述べている。因みに、MDRTとは、Million Dollar Round Tableの略であり、1927年に発足し、現在では、世界67の国と地域の500社以上で活躍する、43,000名以上（2015年8月現在）の会員を有する、卓越した生命保険と金融サービスの専門家による国際的かつ独立した組織となっています。

なお、この時のプレス・リリース資料によれば、この日本最初の保険金は、1881年（明治14年）7月9日に日本で最初に設立された「②」によって、1882年（明治15年）1月27日に支払われています。

この最初の**保険金支払の対象になったのは警察関係の方**で、支払った保険料が「③」円、遺族が受け取った保険金は「④」とのことです。当時の物価から推測すると、現在なら保険料10万円、保険金300万円程度の金額になる。」とのこと。

当時は、生命保険を全く知らない人も多かったため、この記事が大きな衝撃をもって受けとめられたと言われています

現在では、もしもの時のために、ということで、生命保険は幅広く知られたものとなり、日本は世界の保険大国になっていますが、まさにこの時の新聞記事がその後の生命保険の普及の1つの契機になっていたということです！

こうした経緯を踏まえて、「生命保険の日」の制定を機会に、生命保険の本来の意味について改めて考え直す良い機会になればという思いが込められているとのこと！